

# あさひむら **議会だより**

2019.1.31



(新役場庁舎前で初めて行われた観閲式の分列行進)



## 目 次

- 議長新年あいさつ ..... 2
- 12月定例会概要 ..... 3
- 議会議決事項の概要／質疑・討論のポイント ..... 4
- 総務産業常任委員会報告／社会文教常任委員会報告／朝日山形議員研修会／保育園保護者会懇談会 ..... 5
- 一般質問ここが知りたい ..... 6～9
- 議会行政視察／女性担い手懇談会／民生児童委員懇談会／東筑議長会県知事・県議会陳情報告 ..... 10
- 全国議長会・国会議員要望／全国朝日議長懇談会／森林・林業・林産業活性化研修会／アグリビジネス勉強会 ..... 11
- 議会活動日誌／村民の声／編集後記 ..... 12

「議会だより」第31号 発行日／2019年1月31日

発行／朝日村議会 〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村大字古見1555-1 TEL 0263-99-2001(代) FAX 0263-99-2745  
印刷／川越印刷株式会社 Eメール gikai@vill.asahi.nagano.jp

# あけましておめでどうぶ(ぎ)います



議長 清沢 正毅



少し遅くなりましたが、新年明けましておめでどうぶ(ぎ)います。

輝かしき平成31年の新春にあたり、議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素は朝日村議会への深いご理解とご支援を賜っており、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、わが朝日村は記念すべき年でありました。新庁舎の落成と待望のコンピニのオープン、村政130周年記念事業を冠とした大変多くのすばらしい式典事業やイベントが開催され、村民の皆さんも大いに楽しんでいただけたのではないのでしょうか。そして11月末には新役場庁舎が栄えある林野庁長官賞を受賞するなど、とてもありがたい年でありました。

また、三重県朝日町富山県朝日町

山形県朝日町との災害時相互応援協定と友好親善町村協定の締結、愛知県西尾市との災害時相互応援協定締結など関係市町村との絆も深まり、名実ともに日本で一つとなつてしまいました朝日村の名称が一段と世に知れ渡り、朝日村の存在を引き立たせてくれた年であったと私は捉えております。

新庁舎落成及び130周年記念事業イベントの企画推進に携わっていただきました、村当局をはじめ公民館や商工会その他関係村民の皆さんのご尽力に対し深甚なる敬意と感謝の意を表するものであります。皆さん本当にお疲れ様でした。

議会としても、こうした数多くの式典事業やイベントの開催にあつて、事前に各事業の有効性や波及効果をしっかりと検証し、朝日村の活性化に向けた審議に意欲的に取り組んでまいりました。そういう意味で昨年は例年になく繁忙極める充実した活動展開が出来たのではないかと自負しているところであります。

話は変わりますが、昨年の議会内の動きとして、昨年9月に元中村賢郎副議長さんが一身上のご都合で議

員辞職をされました。任期満了まであとわずかでありましたので、何とか続けていただきたかったところですが非常に残念であります。現在は議員1名欠員の体制で活動しております。

中村賢郎さんにおかれましては3期12年(満期であれば)と長期に渡つて朝日村議会の第一人者として朝日村発展のためにご尽力を賜り衷心より敬意と感謝を申し上げます。そして私共若輩議員に対しましても献身的なご指導ご鞭撻を賜り重ねて厚くお礼申し上げます。今後は御身ご自愛のうえ一村民として、そして議会活動への良き理解者として、引き続き議会への助言及び叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

さて今年平成31年は、平成最終の年となり5月には日本の新しい元号が制定されます。そして統一地方選挙の年でありますので、4月には県議会議員選挙及び我が朝日村においては村長・村議会議員の選挙が実施されます。また、夏には参議院選挙も予定されております。もしかしから衆参同時選挙になるのではないかととも言われております。そしてなお

かつ東京オリンピックを翌年に控え関係諸機関を中心に開催準備に向けた追い込みの年となります。このように日本にとって大変大きな変化に富んだ年となることは間違いないありません。

私たちは一人欠けた体制ではありますが、こうした変化を先取りし、来たる事態に果敢に挑戦し、朝日村の進むべき道をしっかり見極め、村民生活の安心安全の確保と福祉の更なる向上と言った、議員に与えられた使命を全うすべく万全を期していく覚悟であります。

そして、本任期中の活動をしっかりと総括し、5月以降の新しい議員の皆さんが活動しやすい環境づくりや基盤整備に力を注いで参ります。現議会体制での活動はわずか4か月となりますが、残された期間を精一杯尽くして参る所存でありますので、本年も村民の皆さんの温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに本年が村民の皆さんにとって健康で幸多き年となりますことをご祈念申し上げ新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。



平成30年朝日村議会12月定例会が、平成30年12月6日より12月19日まで14日間開かれました。

今定例会の議案は、条例6件、予算6件、意見書2件の14件でした。

- ◆議案第67号
  - 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について (全員賛成可決)
- ◆議案第68号
  - 特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について (全員賛成可決)
  - 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について (全員賛成可決)
- ◆議案第69号
  - 議案第67から議案第69までは人事院勧告を踏まえ当村の関係条例を改正したものである。
- ◆議案第70号
  - 朝日村基金条例の一部を改正する

条例について

役場庁舎建設基金が不要となったため削除する。  
(全員賛成可決)  
議案第71号

○朝日村寝たきり老人、重度心身障害者介護慰労金支給条例の一部を改正する条例について  
「生活実態が同居である者も含む」を加える。  
(全員賛成可決)

◆議案第72号  
○朝日村観光レクリエーション施設設置条例の一部を改正する条例について

村レクリエーション施設の名称や利用費上限を変更し、3月に完成するゲストハウスを追加する改正案を審議した。

◆塩原智恵美議員が質疑で、野俣沢キャンプ場の一部として運営するグループバンガローが条例改正案に記載されておらず実態とかけ離れていると指摘。反対討論で実態に合わせて条例が整備されるべきだと主張した。

●賛成討論をした上條昭三議員はグループバンガローは別の条例で定めているのでレクリエーション施設条例とは関係ないと賛成の主張をした。

●採決の結果、可否同数となり清沢正毅議長もグループバンガローは今回の議案とは別と判断し議長裁決で可決した。(可否同数議長裁決可決)

◆議案第73号  
○平成30年度朝日村一般会計補正予算(第4号)について

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億1715万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ35億1082万3千円とする。  
(全員賛成可決)  
◆議案第74号  
○平成30年度朝日村介護保険特別会計補正予算(第3号)について  
既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2873万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億4155万6千円とする。  
(全員賛成可決)  
◆議案第75号  
○平成30年度朝日村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について  
既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ55万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5115万1千円とする。  
(全員賛成可決)  
◆議案第76号  
○平成30年度朝日村簡易水道特別会計補正予算(第3号)について  
既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億3128万5千円とする。  
(全員賛成可決)  
◆議案第77号  
○平成30年度朝日村下水道特別会計補正予算(第3号)について  
歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億9285万9千円とする。  
(全員賛成可決)

◆議案第78号

○平成30年度あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算(第2号)について  
歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4365万円とする。  
(全員賛成可決)

◆追加付議事件  
◆発議第7号  
○安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書について (全員賛成可決)

◆発議第8号  
○「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書について (全員賛成可決)

◆議員派遣について  
○町村議会広報研修会  
平成31年1月31日  
長野県総合教育センター

◆閉会中の継続審査及び調査の申し出について

●事件  
●議会運営委員会  
①議会運営委員会の所管事務に関する事件

●議長の諮問に関する事件  
●総務産業常任委員会  
①総務産業常任委員会の所管事務に関する事件

●社会文教常任委員会  
①社会文教常任委員会の所管事務に関する事件

●期限  
●次期定例会開催まで

3 あさひむら議会だより

# 議会の議決事項の概要

○賛成 ●反対 一不参加（議長は議決に参加しない）

議案番号	議案の内容	議決結果	高橋 廣美	上條 俊策	齊藤 勝則	上條 昭三	北村 直樹	小林 弘幸	塩原智恵美	林 邦宏	清沢 正毅
〈平成30年朝日村議会12月定例会〉 〈付議事件〉											
67	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
68	特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
69	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
70	朝日村基金条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
71	朝日村寝たきり老人、重度心身障害者介護慰労金支給条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
72	朝日村観光レクリエーション施設設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	●	●	○	○	○	●	●	○
73	平成30年度朝日村一般会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
74	平成30年度朝日村介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
75	平成30年度朝日村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
76	平成30年度朝日村簡易水道特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
77	平成30年度朝日村下水道特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
78	平成30年度あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—
〈追加付議事件〉											
発議7	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議8	「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	—

## 第72号議案質疑・討論のポイント

### 質疑 塩原智恵美議員

キャンプ場の指定管理者が管理するグループバンガロー(15人用)はキャンプ場施設の一部と捉えるが、条例上「三俣森林公園作業棟施設設置条例」に規定されておりこの中で管理運営は村長が行い使用料は1泊千30円である。これに対し指定管理者は8千円〜1万円を徴集している。この事は明らかに条例違反だが見解はいかがか。また指定管理については議決事項となっているが議会議決はしたか。

**産業振興課長** グループバンガローは議員が受けとめていただいているものと相違ないものと考えている。

**村長** 三俣森林公園作業棟の指定管理は塩原議員の前の時期に全て議員に相談し了解得て進めており間違いない。

### 反対討論 塩原智恵美議員

「三俣森林公園作業棟施設設置条例」の中に指定管理事項は存在していない事から村長答弁は虚偽である。また担当課長は三俣作業棟はキャンプ場施設であると認めている事から今回の条例改正案に反映する必要はある。更に重要なのは指定管理についても議決されていない事である。以上から第72号議案は整備不足で反対である。

### 賛成討論 上條昭三議員

指定管理のグループバンガローは別の条例に規定しているから問題なく原案賛成である。



(三俣森林公園作業棟)

## 総務産業常任委員会報告

12月定例会には、総務産業関係として陳情3件が本委員会に付託されました。

●陳情第4号 国土交通省告示15号の履行に関する陳情書

●陳情第5号 最低制限価格の設定に関する陳情書

●陳情第6号 耐震診断・耐震改修に関する陳情書

12月11日に総務産業常任委員会を開催し、陳情者の説明と質疑応

答・担当職員から当村の現況等説明を受けました。慎重に審査した結果、当村としても今後履行されることが望ましく、いずれも全会一致で「採択」となりました。

12月19日の本会議において採決され、村長宛に地方自治上意見書提出は出来ない事とされていますが、村当局には陳情書の趣旨を十分理解のうえ、検討をお願い致しました。  
(委員長 小林弘幸)

## 社会文教常任委員会報告

委員会には陳情2件が付託され、去る12月11日に開催された委員会で慎重に審査致しました。

陳情第7号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める陳情 は全会一致で「採決」となりました。

審査経過を述べますと、医療介護現場の労働環境の改善のためには長時間労働の規制や職員の増員が必要との認識です。

陳情第8号 後期高齢者の医療窓口負担の見直しにあたり、原則一割負担の継続を求める意見書採択について陳情 は全会一致で「採

決」となりました。

審査経過を述べますと、医療費窓口負担が、現行の1割から2割になると、受診抑制が増加し、必要な医療が受けられない状況や、生活への経済的な圧迫が懸念されるから、原則一割負担の継続が必要であると考えている。

19日の本会議で全会一致で「可決」され、意見書が関係機関に提出されました。  
提出先は、内閣総理、厚生労働財務、総務、文部科学の各大臣あてです。

(委員長 林 邦宏)

## 平成30年度朝日村山形村議員研修会

去る10月5日朝日村役場大会議室に於いて朝日・山形両村の議員が一同に会し、議員研修会が開かれました。

両村は昔から深いつながりがあり、行政でも議会に於いても、いろいろと助け合うそんな間柄であります。

今回は当村の紹介ビデオと朝日美術館で開催される「ものづくり展」や中山間総合整備事業予定地の北村箇所と御馬越箇所での現地視察を行いました。  
(斉藤 勝則)



(朝日美術館で説明を受ける両村議員)

## 保育園保護者会との懇談会

社会文教常任委員会では去る10月30日、子育て真最中の保育園保護者会正副会長・会計さん等と、役場会議室で懇談会を開催しました。

保護者会理事の立場で、日々園児の送迎・保育状況・保育環境など多岐にわた

り意見や要望が寄せられました。

社文委員会では、これらの情報を行政に伝え、対処していく方針です。

◆**保育園へのアクセス道路の安全確保**  
道路幅員が狭いので擦れ違い無いよう一方通行の徹底

◆**保育環境** 未満児の園庭に芝生を。3歳児〜5歳児の園庭にも芝生を、園のセキユリテーパー対応を充実して欲しい。

◆**幼児教育** 男性保育士さんの採用で、保育内容の向上を希望

◆**病後児保育の実施** 核家族化の進行中では是非実施して欲しい、以上懇談会の概要です。

(林 邦宏)



(役場会議室で行われた懇談会)

# 一般質問

## ことが知りたい



**絆支援(地域分権)導入促進についての現状**  
北村 直樹議員

「**村長**」今後の朝日村を持続させる為にも必要な施策である。絆支援の理解を村民に知って頂きたく努力をしていく。

**問** 絆支援(地域分権)の質問を2年前の12月定例会で質問し、その後

についてお尋ね致します。絆支援は今後、朝日村にとって必要な政策であると認識しています。前回の答弁では、総合審議会で検討行っていく予定。絆支援に理解と気運としつかりした受け皿が必要であるとの答弁でした。2年後の現在、審議会や気運、受け皿等々の体制面は整ったのか。また、中村村政が残り数か月の現状下で絆支援の実行はどのようにお考えでいるのか。

**答** 現在の少子高齢化を考えると絆支援は「朝日村を朝日村らしく」継続させるには必要な施策である。しかし、絆支援導入にはいくつかの課題がある。これまでも出前村政を行う中で村民に理解を深めてきた。今期任期中に実行は難しい。しかしこれからも絆支援の必要性を説いていきたい。



(絆支援)

**簡易・下水道の公営企業会計に移行に伴う運営について**

**問** 来年度より公営企業会計に移行する状況下で、簡易・下水道会計は収支が赤字の運営になることが予測される。独立採算制で運営をする中で、今後どのような運営をしていくのか。

**答** 地方公営企業会計においては、赤字部分について一般会計から繰出基準により経費補てんすることが国から記されている。今後の公営企業会計の資産・負債・収支・キャッシュフローを注意深く見ていく。



**村ホームページを民間事業者も活用できないか**

小林 弘幸議員

「**村長**」大事な事であり精査し検討したい

**問1** 観光政策について

● 観光協会1年経過し課題は何か  
**産業振興課長** 協会事業への参加者からは高い評価を得ているが、これまでの情報発信では集客が思うように出来ない事や運営スタッフの確保も課題である。今後は参加申込み方法や掲載内容を見直して改善を図りたい。

● 官が民をもっとバックアップ出来ないか

**村長** 個人事業者の各種行事への協賛に敬意を表したい。協会に参加をして議論を深めてほしい。村のHPを個人事業者が利用できる事は大事であり精査し検討したい。

● 『御馬越』をブランド化出来ないか

**村長・産業振興課長** ゲストハウス・キャンプ場を中心に、この地域を魅力発信の場として捉えて行きたい。自然環境は十分活用でき、外国人の滞在型も検討したい。

**問2** ヘリポート計画の進捗は

● 建設時期は

**総務課長** 当初は庁舎建設と併せて整備を行う予定であったが、敷地面

積が1万㎡を超え大規模開発の申請となる為、切り離して平成31年度の計画とした。県との調整で一年先送りとし平成32年度に建設したい。

● 子供も遊べる芝の仕様に出来ないか  
**総務課長** 路盤については幾つかの工法があり今後検討していく。尚、芝生化については他の工法より維持費や耐久性に課題があり、今後村民の意見を参考にして判断する。



(現在の村HP)



分権型社会における村づくりのあり方について

塩原智恵美 議員

「村長」村の分権はこれからの課題

**問** 平成7年5月地方分権推進法が成立し国と地方の関係が「上下・主従」から「対等・協力」に変わり、平成18年12月地方分権改革推進法の成立で国と地方の役割分担がさらに進み様々な権限や事務が地方に移譲され現在に至っている。こうした状況下中村村政は誕生し村づくりを担ってきた。総合計画で位置付けた目指す村の姿になったか。

**村長** 職員の意識改革を始め財政の健全化を図ったことにより安心して村政運営を任されることになった。庁舎や保育園など大型投資は次代の負担を最小限にした。総合計画で目標に届かない事業は今後見直しの検討。

**問** 総合計画に位置付けた「行政改革大綱・行政評価・人事評価」は、いづれも村の例規集に規定されているが未策定のものもあり公表されていない。策定の目的は村民に情報を積極的に公開する事が、税金で仕事をする行政の説明責任を果たすことにある。策定の必然性はいかがか。

**村長** 執拗に求めるから実行する。**問** 国は地方分権下における村づくりについて、村と村民の役割を明確に

し住民協働による積極的な地域づくりにあるとしており、法律施行から23年経過しある程度地方は分権が進んだとみなしている。村の状況はどうか。また過去において存在した第3次朝日村行政改革大綱は住民協働が柱となっており、住民協働指針が策定されていたが現在存在しているか。また、危機的な人口減少のなか村の分権改革は手がついてない状況。今後真に持続可能な朝日村とするために現在求められるのは、村民をはじめ企業や団体などあらゆる主体と協働連携し村という公共空間を皆で支えあい創造していく覚悟と実践である。それぞれの立場で真剣に課題と向き合い役割を果たしていく必要があると思われるがいかがか。

**村長** 村の地方分権は今後の課題。(住民協働指針については答弁なし)。**総務課長** 行政改革大綱は存在しないが行政改革は積極的に取り組んできた。結果財政指標は改善し基金も積みあがった。庁舎建設は行革の成果。

(第3次行政改革大綱H18、H22)



幼児教育の無償化に当たって

林 邦宏 議員

「教育次長」男性保育士の優先採用は考えていない

**問** 政府は2019年10月消費税を2%上げ、その一部を3歳児から5歳児の幼児教育の無償化に充てる計画です。無償化が執行された際、村外の保育園と比較すると、幼児保育のセー

ルスポイントが即、浮かんできません。そこでお尋ね致します。

- ① 保育園のセキユリテーパー対応を万全に
- ② 正規の男性保育士の採用を
- ③ 病後児保育の実施を
- ④ 山形保育園との相互体験保育の実施を
- ⑤ 園庭の芝生化で園児の素足での芝遊びや運動出来る園庭敷設を

**教育次長** 室内には防犯カメラ、さすがに用意されている。インターホンの設置、防犯カメラの設置を検討中です。病後児保育は、保育士や看護師、保育室の確保等があり保育園では難しい。利用ニーズを調査し、対応する。山形保育園との交流保育は、考えていない。保育内容で対応している。芝生化は管理等が大変で他の方法で土になじむ保育を実施中対応しない。

**問** 無償化に伴う給付金の試算はされていますかその額は。また、この財源を有効活用し魅力ある保育事業の展開と病後児保育の実現化を、わくわく館の活用等で図って欲しい。

**教育次長** 2000万円位が想定される。



(あさひ保育園のおもちつき行事)



今後の朝日村の林業活性化について

高橋 廣美 議員

〔村長〕平成31年の森林譲与税がカギ

**問** 村産材を有効活用して作った役場庁舎が木材利用優良施設コンクールにおいて、林野庁長官賞を頂いた。これを機に、朝日村の林業活性化を本格的に推進する必要がある。特に林業事業者の育成と雇用創出は喫緊の課題だ。地方創生事業の林業活性化の進捗状況は如何か。

**答** 村内工務店、木工作家等木材関係者の聞き取り調査においては、村産材の利用は多くは見込めない。今後は短期的には木工家具用材、中長期的には住宅用材の供給という視点で検討していく。雇用の点においては、村内事業者の育成が村の活性化に繋がると考える。平成三十一年の森林譲与税の利用で積極的に取り組みたい。

人口増と地域経済の活性化対策について

**問** 人口増対策での宅地造成の成果が確実に現れています。しかしながら、生活の便利さを考えたとき、生活必需品等が近くで買える環境が大事です。それには、プレミアム商品券を積極的に活用して地域経済の活性化を図るべきだ。

**答** 今まで村が発行してきたプレミアム商品券の一定の経済効果を確認できているので、今後も国の動向も見ながら検討していきたい。



（森林整備が行き届いた林内）



火葬料について

上條 俊策 議員

〔村長〕平成31年の選挙後考える

**問** 村民の火葬料負担が周辺市町村に比較して高額であるが、早急に見直してもらえないか。

**村長** 今すぐ見直す気はないが、来年度に考える。

**問** 当村民は、主に塩尻市斎場を利用させて頂いているが、塩尻市民は1万2百八十円、朝日村民は3万5千9百9拾円、広域豊科葬祭センター（安曇野市・松本市・麻績村・筑北村・生坂村）は7千円となっている。尚安曇野市民は、無料となっている。他市村に比べると村民の負担が重いと思う。朝日村は、今まで火葬場建設費や運営の負担をしているのかいないか質問します。

**建設環境課長** 朝日村は、今まで火葬場建設費や運営の負担をしていない。又、他の市村は毎年負担金を支出しており、当村と同規模自治体は年額4百万円程となっている。

**問** 人間一生一度の終焉に際して、火葬は埋葬の必須事項であり、村は子育て支援や出産祝い金等他市村に劣らない施策を行っています。村の為にそれぞれの立場で貢献して頂いた全村民の為に弔意を表す意味で

も、村として何の負担もない現状を見ても、村民がダイレクトに全額負担するのではなく、火葬料の無料化・負担軽減を、可及的速やかに検討・実施するべきではないか質問します。

**建設環境課長** 前向きに検討したい。

**問** いつ頃までに検討して頂けますか。

**村長** 来年は選挙もあることから、その後考える。



（塩尻市斎場）





朝日保育園の課題

齊藤 勝則 議員

「教育長」病後児保育はやらない

**問** 病後児保育を実施しては、園のセキユリテは大丈夫か、通園上での交通ルールは、未満児の園庭を広くしては。

**教育長** 未満児園庭は基準を満たしている、セキユリテは施設して対応しているので安全だ、交通ルールも対応している。

**問** 村の中心に公園は必要と思うが、新庁舎近くも明るくなり、安全度も高く若い家族が土日、ゆったり過ごせる公園があつては、今迄は村外の公園に行く若い家族や団地が出来ても遊び場がない、ヘリポート用草地の利活用は。

**総務課長** 縄文村公園がある保育園、わくわく館も利用しているので今のところ、考えていない。

**地域文化芸能の衰退に支援を**  
**問** 今まであった文化芸能が地域から消えて行くのは淋しいどのように考えているか。

**村長** 高齢化で後継者が少ないが出来るだけやりたい組織は解散しても自主的にやっていきたい人もいる、新しい分野にも努力していきたいと思っている。



(あさひ保育園)



松くい虫被害の現状について教えてください

上條 昭三 議員

「産業振興課長」朝日村の30年までの松食い虫被害木の合計は7本

**問** 中部電力では停電を引き起こす可能性がある樹木の計画伐採を推進するため自治体との連携、協議を進めています。自治体は村内で倒木すると断線する危険性のある樹木の情報を中電に提供。中電は地権者の了承を得て伐採をするという計画です。朝日村では中電と協議を始めているのか。

**建設環境課長** 中電とは停電の原因となる倒木の事前の保安伐採その他について協議中、年度内を目標に業務連携協議を終了させる。

**問** 国土交通省は耐震強度が不足するなど危険なブロック塀の撤去や改修を促進するため工事費用の補助事業を来年度から拡充し、所有者に働き掛けやすくする方針を固めました。また、通学路沿いなどは国費による補助率を引き上げ、重点的に支援する仕組みも取り入れます。朝日村の通学路で現行基準に適合していないブロック塀はありましたでしょうか。

**教育次長** 通学路の点検の結果、基準に適合していないブロック塀が15箇所所有。来年度は、国の支援もあり対応する。私的財産なので村民の協力をお願いしたい。



(今年、松くい虫被害が判明、くん丞処理された下古見の松)

## 議会行政視察

十二月定例議会後村内の行政視察を行った。今回は中組バイパス、本郷地区圃場整備地区、向陽台取り付け道路、ゲストハウス、ヤマメ養殖場を視察した。中組バイパスは道路の外郭、取り付け部分が確定し今期完成に向け順調な進捗状況であった。向陽台取り付け道路も平成三十一年度の完成に向け予定どおり進んでいた。ゲストハウスについては国の認可の遅れもあり、若干の遅れが有るようですが、年度内完成に向け急ピッチで進めている模様でした。待望久しいヤマメの養殖場ですが、担当の地域おこし協力隊の山田さんの弛まぬ努力と熱い思いで、水槽の改修も終わり今春の稚魚の放流育成に向け計画どおりに進んでいるという説明がありました。



(向陽台連絡道路)



(本郷工区圃場整備)

(高橋廣美)

## 朝日村女性農業者担い手協議会と議会総務産業委員との懇談会

11月16日 中央公民館にて開催

主な課題は学校給食の野菜提供について真剣な議論がされた。これまで何年にも亘り何回も村には課題について御願いして来たが、何も解決策は示されなかった。

○今まで担い手協議会は子どもたちの為と思いボランティア精神で苦勞してきたが、村は近年、アグリビジネスセンターを構築して、そこで対応してゆくと計画を示していたが、突如方向を変更し、アグリビジネス協議会ととりまとめてゆくとやっているが、何も進展していない。

○村の対応は無責任で、学校側は野菜の提供で何か問題が起きたら担い手の責任という事で、責任を持つてくる。

○村長に種々の事柄が届いていないのではないかと。

○先進地の視察等も以前依頼したが、断られた。

○村は学校の食の事をどう考えているのか

○担い手協議会がさんざん真剣に考え、今までやってきたが、村の対応は無責任であり、これ以上、「担い手協議会が頭を悩ませ、やることではない。野菜の提供はオール朝日でやるべき事と考える。」

○その他、風食防止について、農家の負担も考慮して、徹底的にロータリーをかける事を考えたかどうか。等々意見が出されました。

○いずれも一日も早く検討・対応の最重要事項であると考え



(懇談会風景)

(上條俊策)

## 民生児童委員との懇談会にて

去る10月11日に新役場庁舎にて、民生児童員と社会文教常任委員とで日頃の活動について意見交換を行いました。高齢者になると地域交流がなくなり、疎遠気味となる。そうなるに孤独死につながる可能性がある。一方では福祉バスの重要性を訴える声もありました。近年公共バスは充実してきたと思う。しかし、現行は医療機関やスーパーに行くには乗り換えが発生する。高齢者は思考力や体力的にも不安がある。直行便をなんとか考えて欲しいとのご意見を頂戴致しました。このご意見は翌月の11月14日の全員協議会にて報告を致しました。今後課題解決に向けて協議をすすめて参ります。

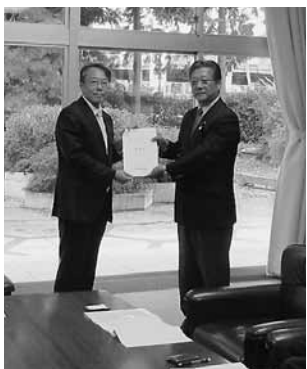
(北村直樹)

## 東筑議長会県知事県議会陳情 報告

去る11月9日(金)に毎年定例の東筑議長会で長野県庁に伺い、東筑5村の要望・陳情活動を実施いたしました。

当日は清沢英男県議にコーディネートいただき、県へは阿部知事が不在でしたので太田副知事、長谷川建設部長他、そして県議会へは鈴木議長不在でしたので小林副議長にそれぞれ要望・陳情書をお渡しさせていただきました。

要望・陳情内容は、本来であれば東筑共通の陳情内容にまとめられれば良いのですが、ロケーションも離れており地域環境も異なるため、それぞれ各村において安心安全な生活環境の維持向上のための最優先となる「道路環境整備」に特化して、それぞれ各議長さんから説明を加えて要望させていただきました。



(眞副議長へ陳情)

(清沢正毅)

## 全国議長会 報告

去る11月21日に第62回町村議会議長全国大会がNHKホールにて開催されました。

来賓に安倍総理をはじめ衆議院議長、参議院議長、地方創生大臣他関係する多くの国会議員のご臨席のもとに全国から926町村の議長さんが参加され盛大に開催されました。私たちも東筑議会議長会として5村の議長さんと一緒に参加いたしました。

大会のサブテーマは昨年同様に「地方創生の実現をめざして」をテーマに全国町村議会議長会が一致団結して、本格的な災害復旧・復興を加速化させるとともに、人口減少の克服と地方創生を実現させるために、町村の自治能力を高め都市と農山漁村が「共生」しうる社会づくりに果敢に行動していくことを全会一致で決議されました。

大会終了後は「激動の21世紀をどう生き抜くか」中・ロ・朝鮮半島情勢と日米同盟」と題して外交ジャーナリストで作家の手嶋龍一氏の特別講演がありました。今話題のトランプ大統領批判とアメリカ内部の実態を踏まえた内容が主体であり、大会テーマである地方創生と掛け離れた内容でしたので、私としてはあまり興味をもちませんでした。

そして、東筑議長会としてはもう一つの大きな目的として、この上京を機会に衆参両議院会館に伺い、地元国会議員の務台俊介、太田昌孝、下条みつ衆議院議員と吉田博美、杉尾秀哉、羽田雄一郎参議院議員の先生方にお目にかかり、東筑5村の国への要望書をお渡しさせていただきました。

ちなみに朝日村の要望内容は今年最後となりますが「中組バイパスの早期完成」であります。(清沢正毅)



(大会風景)

## 全国朝日議長懇談会 報告

すでに村の広報でも紹介されておりますが、去る10月18日(木)に全国朝日会友好親善町村認定調印式が朝日村において開催されました。その時には各町村の議長さんも同行されましたので、少ない時間ではありましたが議長懇談会を開催し「全国朝日会」発足に伴い、各議会間の交流はどの様に進めていくかについて懇談いたしました。

開催地の議長として座長を務めさせていただきました。同時に全国朝日会議会の位置づけについての素案を提案させていただきました。30分ぐらいの時間でありましたが各議長さんから素案に対するご意見をいただき、議会としては特に会の名称や規約および申合せ事項等は定めず、行政による友好親善事業が所期の目的どおり有効かつ効果的に展開されているかを見守って行くこととし、議員どうしの交流は必要に応じて開催できるものとなりました。(清沢正毅)

## 森林・林業・林産業活性化研修会報告

去る10月26日、安曇野市豊科交流学習センターで開催されました。松本ブロックの3市1村の市村議員56名程の参加研修会となりました。

講演内容は「森林保養活動の推進動向と企業の健康経営に取り組む信濃町癒しの森」観光地として知名度の高い野尻湖や黒姫高原の豊かな自然環境を維持しながら、観光や保養に訪れる方々に「癒し」を実感していただけるような保養型観光地を目指す取り組み内容が紹介されました。

当村の現状に照らし合わせると、共通点は自然豊かな森林位で、知名度では、全く足元にも及びません。当村では身の丈に合った事業規模で現行の観光事業を継続していくことが基本と思った次第です。(林 邦宏)



(講演する浅原氏)

## アグリビジネス勉強会「農の学校」

農の多様性を学び持続可能な農業を維持するための講座「農の学校」(4回シリーズ)が11月16日スタートした。これは村が取り組んでいる地方創生事業のアグリビジネス勉強会として企画されたもので、初回の講師は(株)エムスクエア・ラボ代表取締役の加藤百合子氏(41歳、2人の子育て中)。加藤氏は農業と外食産業をつなぐコーディネーターとして活躍中。民間企業から農業事業に転身。自らの経験から農業は将来性ある儲かる仕事であるとしたうえで、農業が生き残る策はリーダーが存在しそれを支える人が、リスクを恐れず積極的に挑戦するベンチャーマインドで本気に取り組む地域が生き残ると語った。参加者からは村の基幹産業を持続可能とするには現状のままではいいのかわからないと懸念の発言があった。

続いて第2回は、6次産業について12月に開催された。いずれも多彩な講師陣で、最先端を走る実践者の講演は説得力があり刺激的で参加者は熱心に聴いていた。

なお、「農の学校」で得た知識や講師とのつながりを今後の「村の農」にどう活かすか大きな課題と同時に期待を感じた。(塩原智恵美)

(塩原智恵美)

# 村民の 声

## 明るい選挙の推進を

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
昨年を顧みますと役場新庁舎落成開村130周年記念事業等の行事が相次いだ年でございました。平素は、明るい選挙の推進につきまして村民の皆様方に大変お世話になり、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。選挙管理委員長を拝命して3年目となりました。この間、衆議院議員と長野県知事選挙を経験させていただきました。都度思ったことはもっと投票率アップの啓発ができないだろうか?と難問ではありますが多くの方々の知恵をお借りして検討してまいりたいと考えております。ご案内のとおり今年には統一地方選と参議院議員選挙があります。まず4月7日投票日の県議会議員選挙は今回から松本市区と東筑摩郡区が合区となり激しい選挙戦が予想されます。続いて村民に最も身近で重要な4月21日投票日の村長・村議会議員選挙、7月に参議院議員選挙が行われます。満18歳以上の有権者の皆様には、明るい選挙の一層の推進と大切な投票権の行使を是非お願い申し上げます。公正な選挙執行ができますよう、我々選挙管理委員・補充員一同、精一杯努めたいと思います。皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

朝日村選挙管理委員会委員長  
高橋武志



高橋武志氏

去る10月21日開村130周年記念文化講演会で、落語家・二代目林家木久蔵さんが大変驚かしながら昼食弁当のおかずの「いなご」の食虫文化についておもしろおかしく話題にされました。さすがは真打、味のある講演でした。  
さて、本年度の4月に新しい元号が発表されます。そして統一地方選挙が行われ、当村でも新しい村政および議会が誕生致します。なにはともあれ今年「亥亥年」(いいとし)になることを願うものです。  
(林 邦宏)

## 編集後記

発行責任者

編集委員

議長 清沢 正毅

委員長 上條 昭三

副委員長 北村 直樹

委員 高橋 廣美

委員 上條 俊策

委員 齊藤 勝則

委員 林 邦宏



## 議会活動日誌

10月	活動内容
1 ㊦	県町村議会議長会部会及び全体研修会
2 ㊦	議会だより編集委員会
3 ㊦	議会だより編集委員会
4 ㊦	中山間地域総合整備事業あさひ地区御馬越工区ほ場整備推進委員会実行委員会設立総会及び地権者総会
5 ㊦	朝日村山形村議会議員研修会
7 ㊦	朝日村体育祭
10 ㊦	村議会全員協議会
11 ㊦	針尾加工所火入れ式 民生委員議会社会文教委員懇談会
12 ㊦	松塩地区広域施設組合議会運営委員会
18 ㊦	全国朝日会首長・議長意見交換会／全国朝日議長懇談会／全国朝日会友好親善町村締結式
20 ㊦	開村130周年記念式典・表彰式・記念イベント
21 ㊦	村文化発表会／村社会福祉大会／村文化講演会
25 ㊦	町村議長会定期総会
26 ㊦	森林林業産業活性化議員連盟松本地方ブロック市村議会研修会
28 ㊦	村民ゴルフ大会表彰式
29 ㊦	例月出納検査／随時監査／松塩地区広域施設組合議会／10月定例会
30 ㊦	飯綱町議会庁舎視察来村／保育園保護者会役員との懇談会／村議会全員協議会
31 ㊦	議会だより第30号発行
11月	活動内容
1 ㊦	全国町村監査委員研修会
2 ㊦	全国町村監査委員研修会
6 ㊦	松塩筑木曾老人福祉施設組合議会11月定例会・全協
7 ㊦	鉢盛中学校組合議会
9 ㊦	東筑摩郡議長会県要望・県議会陳情
10 ㊦	県民コンサート県民芸術祭(小学校)
14 ㊦	議会全員協議会
15 ㊦	松塩地区広域施設組合環境保全協議会視察／定期監査／課別聴取1／JA松本ハイランド朝日支所野菜生産販売実績検討会
16 ㊦	定期監査課別聴取2／女性農業担い手協議会との懇談会
19 ㊦	定期監査 松本広域連合議会11月定例会
20 ㊦	定期監査
21 ㊦	町村議会議長全国大会・東筑摩郡村議会議長会国會議員要望
26 ㊦	定期監査／川上村議会視察来村
27 ㊦	例月出納検査／定期監査／議会運営委員会
28 ㊦	社協監査
30 ㊦	定期監査結果報告会
12月	活動内容
6 ㊦	村議会12月定例会・全員協議会
10 ㊦	一般質問通告日
11 ㊦	村議会12月定例会常任委員会
14 ㊦	村議会12月定例会一般質問
16 ㊦	アイススケート場安全祈願
17 ㊦	村議会運営委員会／村議会全員協議会
18 ㊦	農業振興地域推進協議会
19 ㊦	村議会12月定例会・全協／行政視察
20 ㊦	年頭あいさつ収録
26 ㊦	例月出納検査 随時監査 保育園との交流会